

きらら通信

こちら校長室



令和3年度

令和3年11月29日
京都市立修学院小学校
校長 村山 雅彦
TEL: 075-781-4439

6年生 修学旅行

「自分で考える 自分から動く
自分から学ぶ」
～歴史・平和と戦争・文化～

11月11日、12日には、6年生が修学旅行で姫路市平和資料館、姫路城、あすたむらんど徳島を訪れました。感染症拡大防止対策に十分配慮しながらの旅行でした。保護者の皆様には当日まで周到にご準備いただき、誠にありがとうございました。おかげさまで無事終えることができました。

姫路市平和資料館では平和学習をしました。姫路市は、昭和20年6月と7月の大きな空襲により、市街地は壊滅的な被害を受け、多くの市民が犠牲になりました。空襲から終戦、そして復興への姫路の姿を写真や収蔵資料などで見学し、6年生は平和について改めて深く考えました。

クラスごとに資料館の先生の話も聞かせていただきました。スライドを交えての語り、空襲による街の惨状、多くの人の命が犠牲になった悲劇に、二度と戦争をしてはいけないと強く思いました。

不戦の誓いを表現した慰霊塔を前に、今後、平和な世の中を作らねばならないと自分のこととして考え、決意を新たにしました。



「総合 安全」～授業研究～

4年生は総合的な学習の時間で「風水害に備え、自然と共に生きる（修学院の命と自然災害）」をテーマに、災害に備えて働く人や地域の仕組みについて関心を持ち、自分が追究し思ったことを友達と交流したり、身近な地域の人に提案したりする活動を通して地域での自分の生き方に生かすことを目指しています。

11月2日にはその中の1時間を公開しました。自主防災会会長、消防分団分団長のお話の紹介もあり、子どもたちは、自分のこととして修学院の安全について考えることができました。その後、全教職員で授業について協議し、今後の取組に生かしていくことを確認しました。

12月は「人権月間」

12月10日は世界人権デーです。

世界中の人々が人権について考え、確かめ合う日です。学校でも、人を大切にするために自分にできることを一人一人が考えます。

平和な世の中を作り、守っていくために自分にできることを考え行動していくことが大切です。